

水道管の凍結・破損を防ごう!

気温がマイナス4度以下の厳しい寒さになると、水道管が凍結し、水が出にくくなったり、水道管が破裂することがあります。特に屋外で水道管が露出している部分や給湯器などの凍結、破損が起こりやすくなっています。寒波の到来に備えて家の周りの水道管を点検し、早目の対策をとりましょう。

凍らないようにするために

- ・露出した水道管は、保温材で覆い、ビニールテープを巻いてください。(保温材は市販されています。)
- ・屋外の蛇口は特に凍りやすいので、毛布や布などで覆い、その上からビニール袋をかぶせてテープを巻いてください。(毛布や布がぬれると逆効果になるので注意してください。)
- ・長らく家を留守にする場合は、水道メーター横の止水栓(※)を閉めるか、水道局に中止届を出してください。



水道管が破裂・凍結したら



水道管が破裂したときは、応急措置として、まずメーターボックスの中にある止水栓(※)を閉めて、指定給水装置工事事業者(裏面参照)に修理を依頼してください。



水道管が凍結したときは、凍った部分にタオルをかぶせ、その上からぬるま湯をゆっくりかけてください。直接熱湯をかけると破裂する恐れがあります。

宅内漏水の確認方法

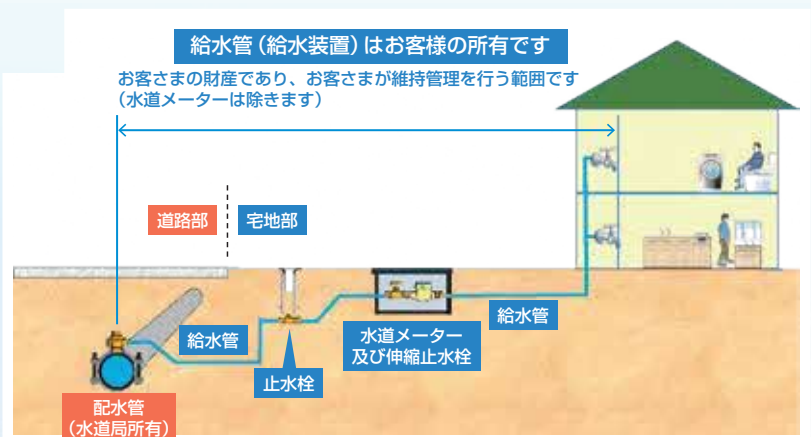
- ①蛇口をすべて閉めてください。
- ②水道メーターのパイロットを確認してください。
- ③パイロットが少しでも動いていたら漏水しています。止水栓(※)を閉め、指定給水装置工事事業者(裏面参照)に修理を依頼してください。



(※)止水栓を閉めたあと蛇口を開け、水が出ないことを普段から確認してください。水が出るようなら止水栓が壊れていますので、水道局まで連絡してください。

水道管の漏水修理は

- 宅地内の水道管等(給水装置)はお客様の管理になります。凍結破損事故を防ぐため、家の周りの水道管を点検し水道の凍結防止を心がけてください。
- 宅内の水道メーターから蛇口までの間で漏水しているときは、指定給水装置工事事業者(裏面参照)に修理を依頼してください。
- 宅内の水道メーターから道路側で漏水しているときは、水道局まで連絡してください。



【問い合わせ先】
雲南市水道局

TEL 0854-42-5322 (代表)